

<福島県納税貯蓄組合連合会長賞>

税金でつながる明るい未来

白河市立白河中央中学校

3年 ふかや 深谷 ゆうき 侑希

社会科で、税について学習しました。毎日学校に通えるのは、税金のおかげだという事が分かりました。税金とは、江戸時代の年貢徴収と同じ基本的な考え方です。

私にとって、一番身近なのは消費税です。以前は、3パーセントでしたが、現在は5パーセントです。来年は8パーセントと高くなるようです。海外について調べてみると、ヨーロッパでは、20パーセント前後の国が沢山あります。なぜかという、食品や生活必需品は無税で贅沢品には、消費税がかかるという仕組みになっているからです。医療などの保障制度がある福祉国家なのです。消費税だけで、海外と比較しては不十分でした。その中でも、日本の自動車税は世界最大でした。日本では、昔から自動車が贅沢品として認識されてきたので、自動車税が高く設定されたのです。海外では、生活必需品といった傾向が強いため自動車税は、廃止されている所が多いようです。その代わりとして、ヨーロッパでは、燃費や、二酸化炭素の排出量などで設定された環境税が導入されています。これについてぜひ日本も参考にするべきだと思いました。

夏休みを利用して、岩手県陸前高田市に行ってきましたが、復興はまだままだでした。3年経っても生活は仮設にありました。東日本大震災の被災地のためにも、がれき処理や、学校、道路の整備など復興のため復興特別所得税は、とても大事なことだと思いました。税金が、こうした目的のために正しく使われていって欲しいです。

この学習を通して、私は家族と税について話し合いました。父は単身赴任で、二人の兄は大学生、祖母と母と私は同居していて四重生活です。母は、一生懸命働いたお給料から所得税が引かれると大変だと言いますが、父は社会のために役立っていると考えているそうです。考え方一つで気持ちが変わってやる気や働く意味があるのだそうです。常に家計簿をつけている母は、大変だと思いましたが、国民の義務であり社会保障制度

の安定、充実のためには、とても必要なことだと思いました。無駄を無くす努力や周り
と比べて贅沢をしてはいけないと思いました。

学習を通して、税金の使い道を知る事で、納めなければいけないという、意識が高ま
りました。皆で日本の暮らしを支えるために、負担し合う事が大切だと思いました。